

第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

1 広域道路ネットワークの構築

●東九州自動車道

・東九州自動車道は現在、4区間の約21kmで4車線化事業が展開されています。平成31年度に事業着手した「宇佐IC～院内IC」は香下トンネルが貫通し、「臼杵IC付近」臼杵トンネルは約7割の掘削が進んでいるところです。引き続き、事業中区間の整備促進及び残る優先整備区間の早期事業化を目指し、国等への要望活動を行います。

●中九州横断道路

・竹田阿蘇道路は令和4年度から工事に着手するなど、事業が進められています。また、県内の残る未事業化区間である「大分～犬飼」の早期事業化に向け、令和5年11月に大分市で「中九州横断道路リレーシンポジウム」を開催するとともに、12月には国による第3回計画段階評価が実施され、ルート案が決定しました。引き続き、早期事業化を目指し、国へ要望活動を行います。

●中津日田道路

・中津日田道路では全長約55kmのうち、約28kmが供用されており、現在、約22kmの区間で事業を推進しています。「三光本耶馬溪道路」(直轄権限代行)においては、田口IC～青の洞門・羅漢寺IC間が令和6年3月24日に開通しました。また、「耶馬溪山国道路」では調査・設計、「日田山国道路」では1号トンネル避難坑、5号トンネル本坑の工事を進めています。引き続き、用地取得や改良工事を実施し、各工区ともに早期の供用開始を目指します。



三光本耶馬溪道路 開通状況
(青の洞門・羅漢寺IC付近)



日田山国道路 整備状況

【目標指標】

指 標	基準値		R5年度		R6年度	
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合	H26	73%	77%	77%	100%	78%
九州の東の玄関口としての拠点化主要施設まで概ね30分で到達できる地域の割合	H26	—	54%	54%	100%	54%
地域高規格道路整備延長	H26	67km	87km	87km	100.0%	100km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	国道387号川底工区や三光本耶馬溪道路(田口～青の洞門・羅漢寺)の開通により、目標値を達成した。
達成	宇佐本耶馬溪線江須賀工区や三光本耶馬溪道路(田口～青の洞門・羅漢寺)の開通により、目標値を達成した。
達成	三光本耶馬溪道路(田口IC～青の洞門・羅漢寺IC)の開通により、目標値を達成した。

2 地域道路ネットワークの充実

●地域ネットワークの整備

・幹線道路は、渋滞や交通安全上等の課題の多い箇所、インターチェンジへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展、生活利便性の向上に寄与しています。

令和5年度は県道宇佐本耶馬溪線 江須賀工区などの整備促進により、地域道路ネットワークの充実を図りました。

・異常気象時等においても地域間のネットワークを確保するため啓開ルート上にある法面の崩壊対策を推進しています。令和5年度は、県道小野市重岡線など13路線13箇所を実施しました。



●中山間地域等の生活道路

・既設の道路敷を利用した路肩拡幅や側溝整備等の局所改善を図っています。令和5年度は、山袋久々姥線など96箇所を実施しました。

・災害時の通行止めにより、集落の孤立が発生する可能性のある道路について、道路のり面対策を推進しています。令和5年度は、小川穴井迫線など2路線2箇所、事業を推進しました。



【目標指標】

指 標	基準値		R5年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数	H26	—	139集落	131集落	94.2%	150集落

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	国道387号川底工区等の開通により、32集落(全131集落)のアクセスが改善し、概ね達成となった。

3 海上輸送拠点の強化

●港湾機能の強化

○臼杵港

八幡浜へのフェリーが1日14便の過密ダイヤで運航しており、港内では大小様々な船舶が航行しています。

安全な航行の確保並びに港湾機能の強化を図るため、新たなフェリーターミナルの整備を推進しています。

○別府港

「九州の東の玄関口としての拠点化」にむけて、施設の耐震化、老朽化対応、にぎわい空間創出に取り組んでいます。

令和5年度は四国航路フェリーの新岸壁のためのケーソン製作を行いました。

臼杵港（下り松地区）



令和5年度実施 埠頭用地造成工

別府港（石垣地区）



令和5年度実施 ケーソン製作工

●交通アクセスの向上

物流の効率化とともに渋滞緩和、安全性の向上等を図るため、臨港道路の整備を推進しています。

中津港（田尻地区）



令和5年度実施 道路改良工

大分港（坂ノ市地区）



令和5年度実施 道路改良工

【目標指標】

指標	基準値		R5年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
新規バースの整備延長 ※専用岸壁除く	H26	—	270m	270m	100.0%	270m
県内港湾の公共埠頭取扱貨物量	H26	—	44,400千ft	43,590千ft	98.2%	45,000千ft

【指標による評価】

評価	理由等
達成	整備を計画的に進め、目標値を達成した。
概ね達成	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、物流は回復基調にあり、目標値を概ね達成することができた。